博士学位論文 審査結果の要旨

Abstract of review result

芝浦工業大学大学院 理工学研究科 博士（後期）課程

Doctoral thesis defense committee

博士学位論文審査委員会

Main examiner 主査	楽　奕平
Examiner 審査委員	岩倉　成志
Examiner 審査委員	喜多　秀行
Examiner 審査委員	柴山　多佳児
Examiner 審査委員	マイケル・ヘンリー
Examiner 審査委員	谷田川　ルミ

氏　名 Applicant's Name	何 玏
論文題目 Thesis title	地域公共交通における補助金入札制導入の理論と実証

〔論文審査の要旨〕

本博士論文は、人口減少やモータリゼーションの進行により維持が困難となっている地方都市の公共交通に着目し、不採算交通サービスの補助制度の制度設計のあり方を理論的・実証的に明らかにした研究である。限られた公的財源の下で生活交通を確保することは、環境負荷低減や地域社会の持続可能性とも密接に関わる重要な社会的課題である。

本研究は、補助金付き公共交通サービスの効率性を「サービス設計の効率性」と「サービス生産の効率性」の二側面から整理し、不採算領域における競争導入の枠組みとして、運行権を競争的に委ねる「市場への競争（補助金入札制）」の意義を明確化した。欧州の理論および制度運用の整理、海外事例分析、日本の補助制度の体系的評価を通じて、日本の政策議論における概念的混乱を整理し、理論的基盤を再構築した点は学術的に高く評価できる。

さらに、栃木県内のコミュニティバス 116 サービスを対象とした定量的分析により、補助金入札制導入事例ではサービス生産効率が高く、潜在的競争の強化が効率性向上に寄与することを実証的に示した。この成果は、実証研究が限られていた分野に重要な知見を提供するものである。また、日本の法制度および行政実務を踏まえ、導入に向けた具体的制度設計を提示しており、政策的有用性も高い。

最終審査会は 2026 年 2 月 25 日に開催され、プレゼンと質疑応答の結果、本論文は博士学位論文として十分な水準に達していると判断され、審査委員 6 名全員一致で合格と判定した。

また、研究成果は査読付き学術論文 7 編（うち第 1 著者 5 編）、国際会議論文 1 編、著書 1 編（第 2 著者）を公表している。さらに土木学会研究奨励賞を受賞しており、当該分野への学術的貢献は顕著である。以上から、本論文は博士の学位を授与するに値する研究成果であると認められる。